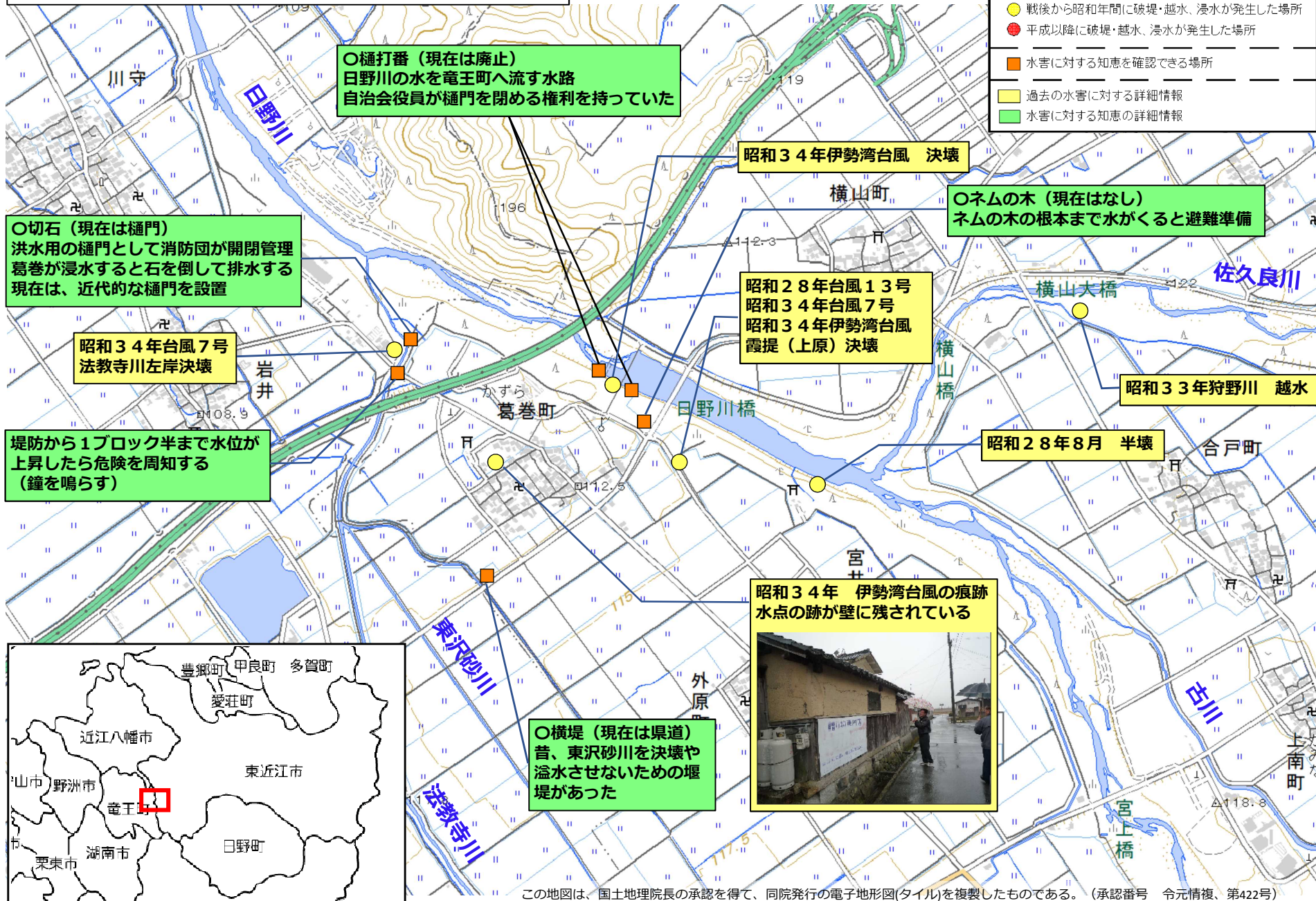


水害経験と備える知恵（東近江市葛巻）

【凡例】	
●	戦前に破堤・越水、浸水が発生した場所
●	戦後から昭和年間に破堤・越水、浸水が発生した場所
●	平成以降に破堤・越水、浸水が発生した場所
■	水害に対する知恵を確認できる場所
■	過去の水害に対する詳細情報
■	水害に対する知恵の詳細情報



○樋打番（現在は廃止）
日野川の水を竜王町へ流す水路
自治会役員が樋門を閉める権利を持っていた

○切石（現在は樋門）
洪水用の樋門として消防団が開閉管理
葛巻が浸水すると石を倒して排水する
現在は、近代的な樋門を設置

昭和34年台風7号
法教寺川左岸決壊

堤防から1ブロック半まで水位が
上昇したら危険を周知する
（鐘を鳴らす）

昭和34年伊勢湾台風 決壊

○ネムの木（現在はなし）
ネムの木の根本まで水がくると避難準備

昭和28年台風13号
昭和34年台風7号
昭和34年伊勢湾台風
霞提（上原）決壊

昭和33年狩野川 越水

昭和28年8月 半壊

昭和34年 伊勢湾台風の痕跡
水点の跡が壁に残されている



○横堤（現在は県道）
昔、東沢砂川を決壊や
溢水させないための堰
堤があった



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 令元情復、第422号)
第三者がさらに複製する場合には、国土地理院長の承認を得なければならない。